

「また逢える」ユーザーマニュアル

(スタッフ・運用担当者向け)

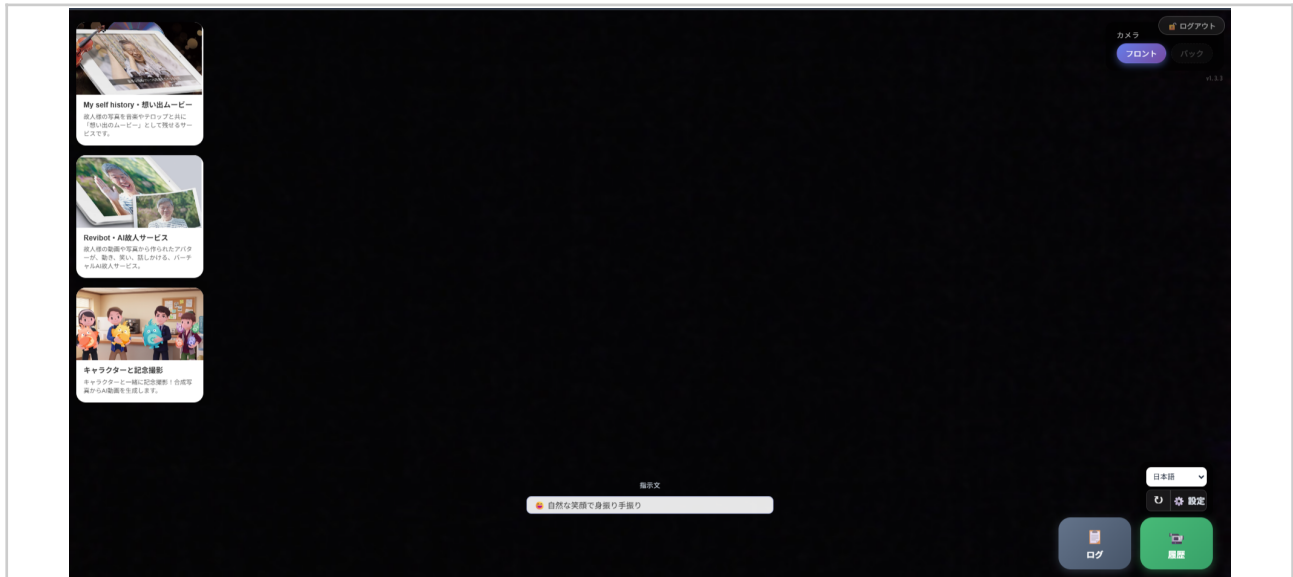
version 1.0 / 2026年7月8日 作成
対象URL: <https://app.mata-aeru.jp/>

はじめに

「また逢える」は、故人様の写真やお声から思い出の動画を生成する体験型サービスです。会場に設置したタブレット・PC端末でお客様(ご遺族)に写真を撮影・アップロードしていただき、AIが動画を自動生成します。

本マニュアルは、会場での運用を担当するスタッフの方向けに、ログインから動画生成、共有(メール送信・クラウド保存)までの一連の操作方法をまとめたものです。

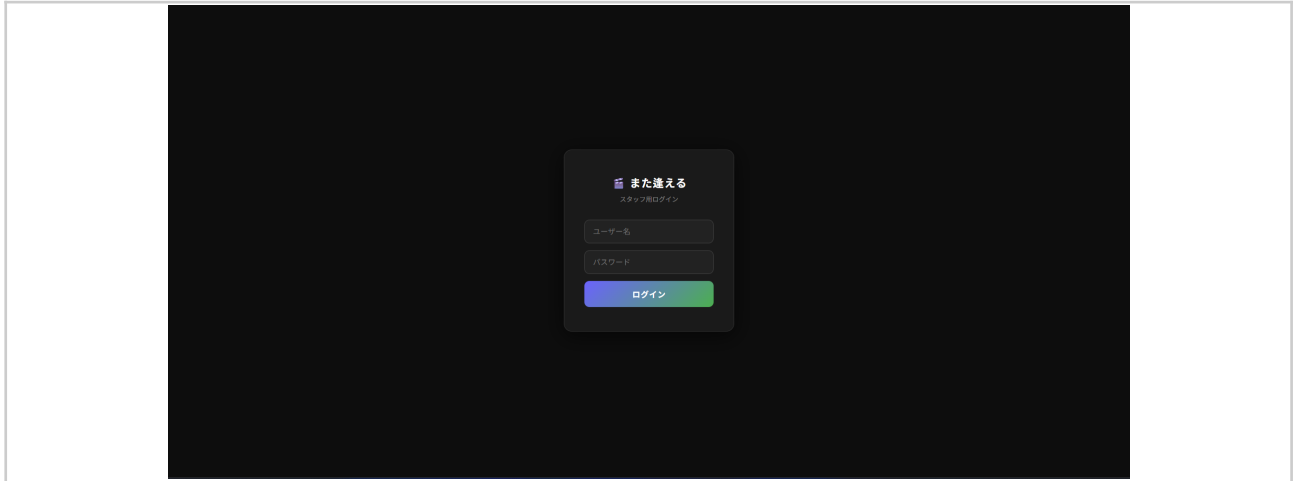
対象URL:<https://app.mata-aeru.jp/>



▲ アプリのトップ画面全体

第1章 ログイン

1. ブラウザで <https://app.mata-aeru.jp/> にアクセスします。ログインしていない場合は自動的にログイン画面(/login)に移動します。
2. 「また逢える スタッフ用ログイン」画面が表示されます。会場ごとに発行されたユーザー名とパスワードを入力し、「ログイン」ボタンを押します。
3. ログインに成功するとトップ画面(サービス選択画面)が表示されます。



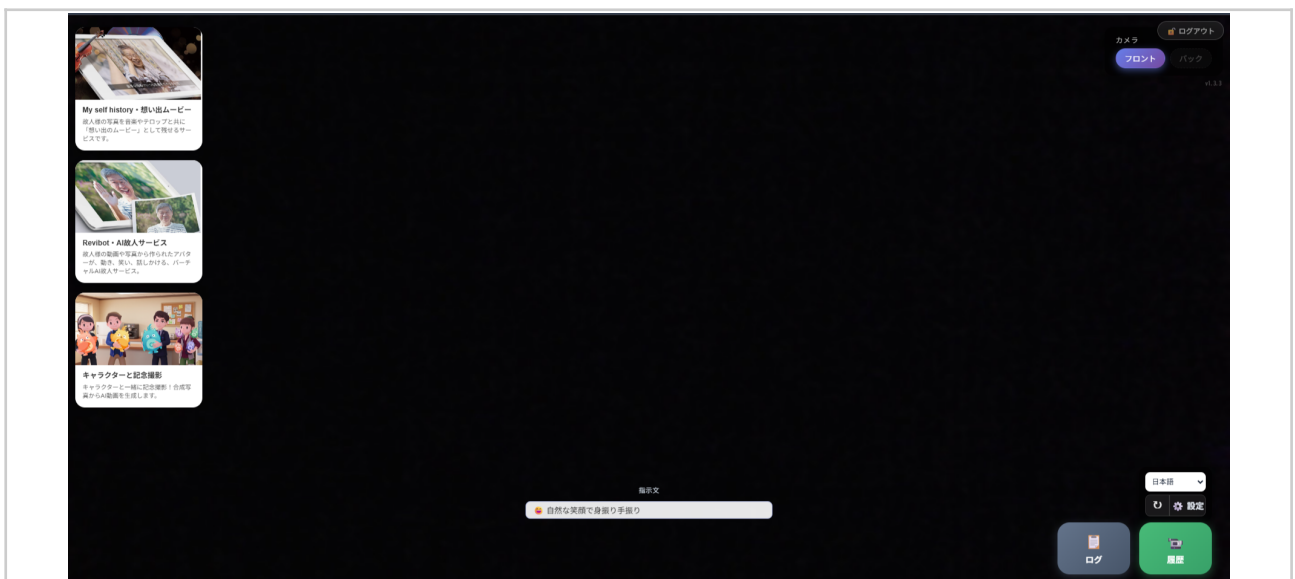
▲ ログイン画面

⚠ 注意事項

- ユーザー名・パスワードが誤っている場合は、同じログイン画面に「ユーザー名またはパスワードが違います」というエラーメッセージが表示されます。再入力してください。
- ログインしたセッションは一定時間(8時間)で自動的に切れます。再度ログインが必要になった場合は、同じユーザー名・パスワードで再ログインしてください。
- 画面右上の「🔒 ログアウト」ボタンから、いつでも手動でログアウトできます。共有端末で作業を終える際は、必ずログアウトしてください。

第2章 トップ画面の基本構成

ログイン直後のトップ画面には、以下の要素があります。



▲ トップ画面(サービスカード3枚・カメラレビュー・各種ボタン)

位置	項目	説明
左側	サービス選択カード(3枚)	「My self history・思い出ムービー」「Revibot・AI故人サービス」「キャラクターと記念撮影」。タップすると各サービスの操作が始まります。
中央	カメラレビュー	端末のカメラ映像がリアルタイムに表示されます。写真撮影時にここに映った映像が使われます。
右上	カメラ切替(フロント/バック)	端末に内蔵・接続されたカメラを前面/背面で切り替えます。
右上	ログアウトボタン	セッションを終了します。
下部中央	指示文入力欄	生成する動画の演出(表情・仕草など)を指定する短い文章です。初期値としてランダムな例文が自動で入っています。空欄のままでも生成できます。
右下	言語選択	日本語/English/廣東話/한국어 の4言語に画面表示を切り替えられます。
右下	⌂(リロード)ボタン	ページを再読み込みします。バックグラウンドで動画生成中の場合は、通知が届かなくなる旨の確認メッセージが出ます。
右下	 設定ボタン	ストレージ(保存先)の選択、表示するサービスの切替ができます(第9章参照)。
右下	 ログボタン	動作ログを表示します(トラブル発生時の確認用。第11章参照)。
右下	 履歴ボタン	これまでに生成した動画の一覧を表示します(第7章参照)。

サービスカードは、ページを開いた直後の一瞬だけ操作できない状態になっていることがあります。これはページの読み込みが完全に終わるまでの安全対策であり、通常は1秒もかからず有効になります。反応がない場合は少し待ってから再度タップしてください。

第3章 3つのサービスの使い方

3-1 My self history・思い出ムービー

故人様の写真1枚から、音楽やテロップ付きの「思い出ムービー」を生成します。音声は使用しません。

4. トップ画面で「My self history・思い出ムービー」カードをタップします。
5. 「写真を選択」モダルが表示されます。写真の入手方法を選びます(第4章参照)。
6. 写真が決まると自動的に動画生成が始まります。
7. 生成完了後、動画が自動再生されます(第6章参照)。

3-2 Revibot・AI故人サービス

故人様の写真とお声(録音データ)から、話しかけてくるようなアバター動画を生成します。

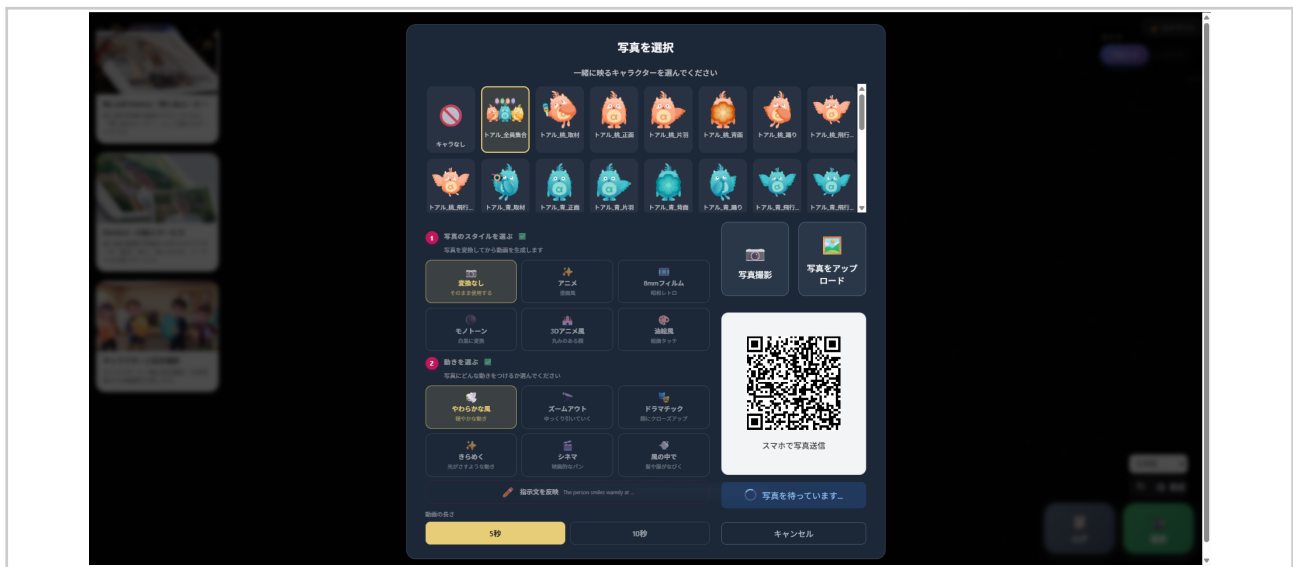
8. トップ画面で「Revibot・AI故人サービス」カードをタップします。
9. 音声録音モーダルが表示されます。画面の案内に従って「🎤 録音開始」を押し、自由にお話しいただくか、テンプレート文例を選んで読み上げていただきます(50文字まで入力可)。
10. 録音が完了したら「🔴 録音停止」を押します。もう一度録り直したい場合は「🔄 もう一度録音」、音声なしで進めたい場合は「🔊 音声なしで続行」を選べます。
11. 続けて写真を選択し(第4章参照)、動画生成が始まります。

補足:Revibotで音声を使用するには、サーバー側で音声API(ElevenLabs)が設定されている必要があります。未設定の場合はRevibotボタン自体が無効化され、ボタンにカーソルを合わせると理由が表示されます。

3-3 キャラクターと記念撮影

用意されたキャラクター画像とお客様の写真を合成し、一緒に写っているような動画を生成します。

12. トップ画面で「キャラクターと記念撮影」カードをタップします。
13. 表示されたキャラクター一覧から、一緒に写るキャラクターを選びます。
14. 「写真のスタイル」(アニメ・8mmフィルム・モノトーンなど)と「動きの種類」(やわらかな風・ズームアウト・シネマなど)、動画の長さ(5秒／10秒)を選びます。特にこだわりがなければ初期設定のままで問題ありません。
15. 写真を選択すると(第4章参照)、選んだスタイル・動きの設定で動画が生成されます。



▲ 写真選択モーダル(キャラクター選択・スタイル/動き設定を含む)

第4章 写真の準備方法

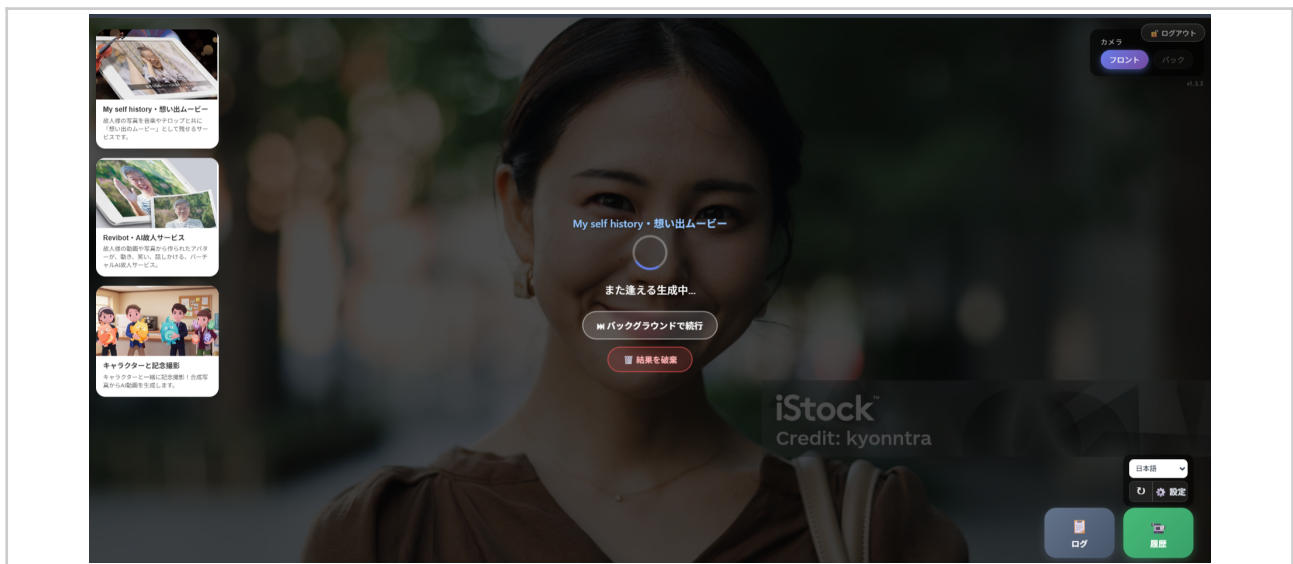
「写真を選択」モードでは、以下の3つの方法から写真を選べます。

方法	操作
 写真撮影	端末のカメラでその場で撮影します。
 写真をアップロード	端末に保存済みの画像ファイルを選択します。
 スマホで写真送信	画面に表示されるQRコードをお客様のスマートフォンで読み取り、スマホ内の写真を送信していただきます。送信されると自動で画面に反映されます。

「スマホで写真送信」を選んだ場合、送信を待っている間は「写真を待っています...」という表示になります。複数の写真が送られてきた場合は、右側に順番待ちのサムネール一覧(写真キュー)が表示され、順に処理されます。

第5章 動画生成中の操作

写真の選択が完了すると、自動的に動画生成が始まり、生成中の画面に切り替わります。



▲「また逢える生成中...」のローディング画面(バックグラウンドで続行／結果を破棄ボタンを含む)

生成中の画面には、次の2つのボタンがあります。

- ▶▶ バックグラウンドで続行: 生成の完了を待たずにトップ画面に戻ります。生成自体は裏側で継続され、完了すると履歴に自動的に追加されます。次のお客様の対応をすぐに始めたい場合に使用します。
- 🗑️ 結果を破棄: 生成を裏側では継続させつつ、その結果を保存・表示せずに破棄します。押すと確認メッセージが表示され、「OK」を選ぶと即座にカメラ画面に戻ります。撮影し直したい場合や、誤った操作で生成が始まってしまった場合に使用します。

何も操作しなければ、生成完了時に自動的に結果の動画が再生されます(通常1～3分程度かかります)。

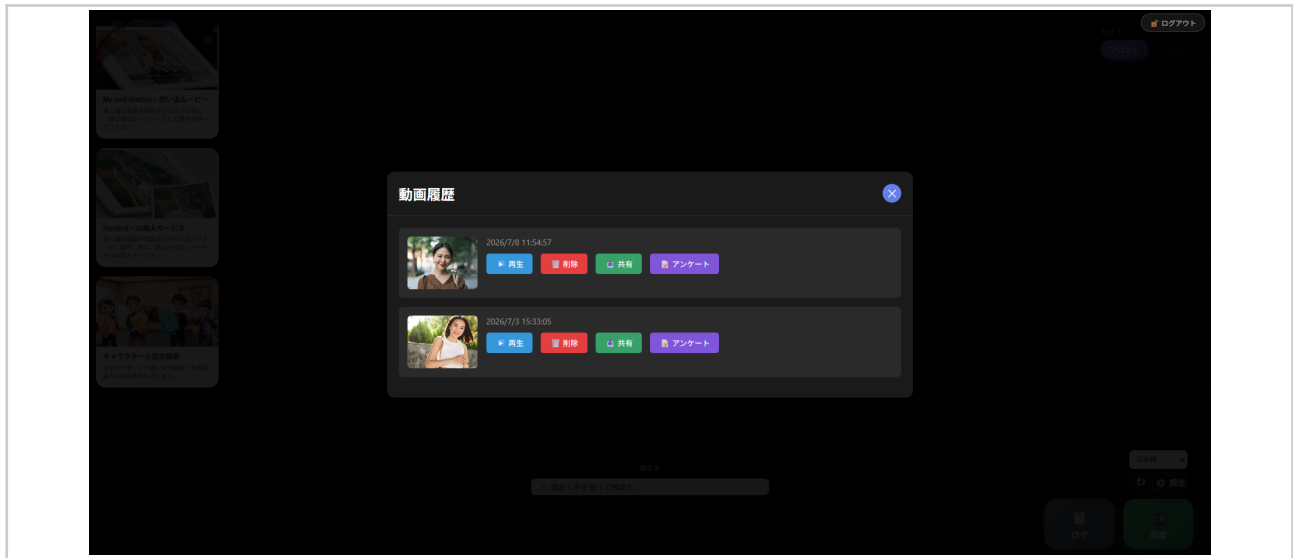
第6章 生成後の操作

動画生成が完了すると、結果の動画が自動的に再生されます。

- 画面下部の「 終了」ボタンを押すと、再生を終了してトップ画面に戻ります。
- 動画は自動的に履歴に保存され、設定されたストレージ(AWS S3 / Google Drive など)にもアップロードされます。

第7章 履歴機能

トップ画面右下の「 履歴」ボタンから、これまでに生成した動画の一覧を確認できます。



▲ 動画履歴モーダル(一覧・各種ボタン)

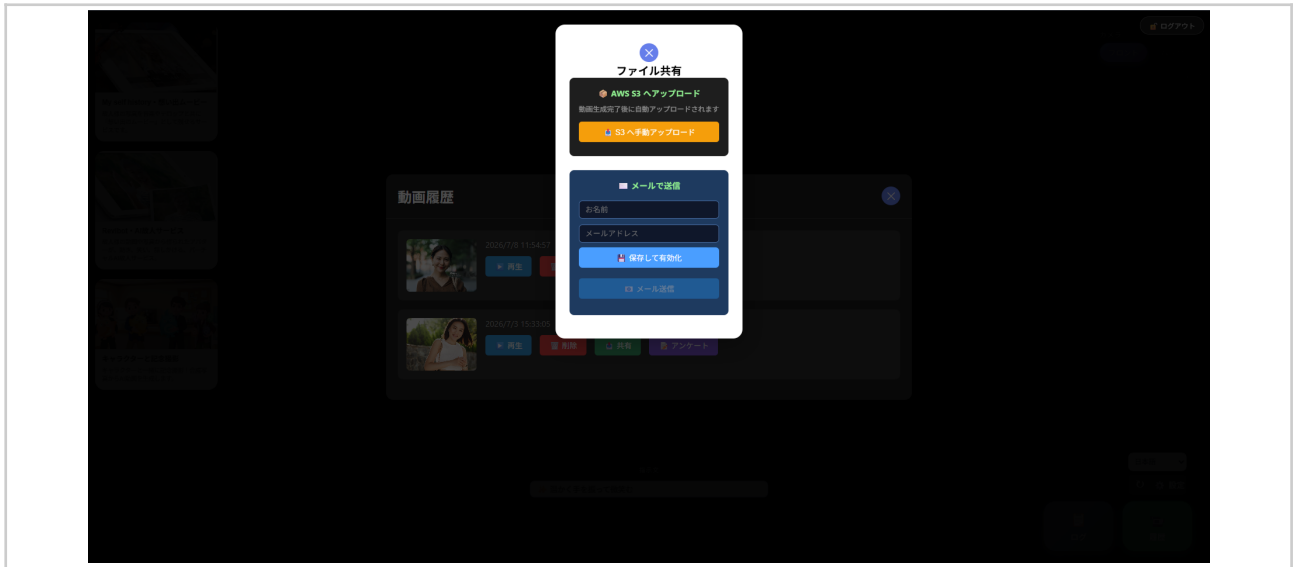
各動画には以下の操作ボタンがあります。

ボタン	内容
 再生	その動画を再生します。
 削除	その動画を履歴から削除します(元に戻せませんので注意してください)。
 共有	ダウンロード用QRコードの表示、クラウドストレージへのアップロード、メール送信ができます(第8章参照)。
 アンケート	(有効な場合のみ表示)お客様アンケートフォームを開きます。

バックグラウンドで生成中の動画は「生成中…」のバッジ付きで一覧の先頭に表示され、完了すると自動的に通常の項目に切り替わります。

第8章 共有機能(ダウンロード・クラウド保存・メール送信)

履歴一覧の各動画の「 共有」ボタンを押すと、共有モーダルが開きます。



▲ 共有モーダル(お名前・メールアドレス入力欄／保存先アップロードボタン／メール送信フォーム)

8-1 お名前・メールアドレスの登録

共有モーダルの上部で、お客様の「お名前」と「メールアドレス」を入力し、「 保存して有効化」を押します。

- お名前のみ必須です。メールアドレスは、入力する場合は正しい形式(例:example@sagami.co.jp)で入力してください。不正な形式のまま保存しようとすると、エラーメッセージが表示され保存できません。
- 保存すると、クラウドストレージへのアップロードボタンやメール送信ボタンが有効になります(お名前が未登録のままではこれらのボタンは押せません)。

8-2 クラウドストレージへのアップロード

第9章の設定で選んだ保存先(AWS S3 / Google Drive / 両方)に応じて、アップロード用のボタンが表示されます。「 Google Drive へアップロード」または「 S3 へ手動アップロード」を押すと、選択中の保存先にアップロードされます。アップロード完了後は、ダウンロード用のQRコードが表示されます。

8-3 メール送信

お名前・メールアドレスを登録済みの動画は、「 メール送信」または「 メール送信」ボタンから、動画ファイルを添付したメールを送信できます。宛先・件名・本文はあらかじめ用意されたひな形が入っていますので、内容を確認のうえ「送信」を押してください。

⚠ 注意

- 添付できる動画ファイルには容量の上限(20MB)があります。上限を超える場合はエラーメッセージが表示され送信されません。

第9章 設定

トップ画面右下の「 設定」ボタンから、以下の設定を変更できます。



▲ 設定モダルの

ストレージ(動画の保存先)

- AWS S3: S3に自動アップロードします。
- Google Drive: Google Driveに自動アップロードします(初回はGoogle認証が必要な場合があります)。
- S3 + Google Drive(両方): 両方に保存します。
- ローカルのみ: 端末上にのみ保存し、外部ストレージにはアップロードしません。

⚠ 注意事項

- このストレージ設定は、ログインアカウントではなく「その端末のブラウザ」ごとに保存されます。同じ端末であれば別のスタッフアカウントでログインし直しても設定は引き継がれますが、別の端末・別のブラウザでは初期値(AWS S3)に戻っており、個別に設定し直す必要があります。複数会場・複数端末で運用する場合は、端末ごとに設定を確認してください。

表示するサービス

トップ画面に表示する3つのサービスカード(My self history／Revibot／キャラクターと記念撮影)を、会場の運用方針に応じて個別に表示・非表示にできます。

設定変更後は「閉じる」を押すと反映されます。

第10章 言語切替

画面右下の言語選択メニューから、日本語／English／廣東話／한국어 の4言語に画面表示を切り替えられます。海外からのお客様に対応する際にご利用ください。

※指示文入力欄の初期例文など、一部のテキストは言語切替後も日本語のまま表示される場合があります。

第11章 トラブルシューティング

カメラが映らない・「カメラのアクセス許可が必要です」と表示される

ブラウザのカメラ権限が許可されていない可能性があります。ブラウザのアドレスバー付近のカメラアイコンから許可設定を確認してください。

サービスカードをタップしても何も起こらない

ページを開いた直後は、読み込み中でカードが一瞬だけ反応しない場合があります。1～2秒待ってから再度タップしてください。改善しない場合は「」ボタンでページを再読み込みしてください(動画生成中の場合はリロードしないでください。通知が届かなくなります)。

動画生成に失敗する・エラーが出る

画面右下の「 ログ」ボタンを押すと、動作ログが時系列で表示されます。エラーメッセージの内容を確認し、必要に応じて開発担当者にログの内容を共有してください。

Google Driveへのアップロードボタンが押せない

共有モーダルでお名前を保存済みかご確認ください(第8-1章)。保存済みでも押せない場合は、Google Drive連携の認証設定に問題がある可能性がありますので、開発担当者にご連絡ください。

「 プログラム更新」ボタンが見当たらない

このボタンは通常は隠されています。キーボードで Ctrl + Shift + U を押すと、画面左下に表示されます。押すとサーバー上のプログラムを最新版に更新します(開発担当者の指示がある場合のみ使用してください)。

付録 よくある質問

Q. 生成した動画は自動的に削除されますか？

A. いいえ、スタッフが手動で削除しない限り、履歴に保存され続けます。定期的な整理が必要な場合は運用ルールに従って削除してください。

Q. 複数のお客様を同時に対応できますか？

A. 「バックグラウンドで続行」を使うことで、1件の生成を裏側で継続させながら次のお客様の対応を始めることができます。

Q. パスワードを忘れてしまいました。

A. 開発担当者にご連絡のうえ、ログイン情報をご確認ください。

以上